

# 近畿青税

No.251

2022年1月1日発行

## 近畿青年税理士連盟

事務局:大阪府中央区船越町1-1-11 大手前ハウス202号室

TEL:06-6809-2734 FAX:06-6809-2735

URL <https://www.kinki-aozei.jp/>

発行責任者/藤原 功子 編集責任者/竹代 慶吾

## 年頭所感



第57代 代表幹事 **藤原 功子**  
(兵庫県支部)

会員の皆様、あけましておめでとうございます。旧年中は当連盟の活動に格別のご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げますとともに、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

コロナ禍の影響を受けたままスタートをした今年度ですが、10月以降は少し状況が落ち着き各支部にて親睦行事も行われ、少しずつ平常に戻りつつあるように感じます。私自身も大阪支部の懇親旅行に参加して楽しい時間を過ごしたり(私は大阪支部の準会員です)、また、連盟幹事会後には食事に行き(まだ人数は少ないですが)交流を深めることで、改めて青税の仲間がいることの有難さを感じております。

さて、今年度のテーマである「次世代へ繋ぐための再構築」の中心となる連盟組織検討委員会では、議論を重ね、年齢に関する規約改正がほぼ固まりつつあります。諸先輩方から「青年」であることの大切さを学びながらも、昨今の各支部における新入会員の獲得状況や年齢層などを考慮し、支部や連盟での活動が円滑に行えるよう、代表幹事や連盟幹事の年齢引き上げを行う方向で進めております。また、連盟6支部の状況に鑑み、正会員数の減少により独自での活動が難しい支部のためにできることなども、規約改正の中に組み込めるように検討しております。規約改正だけではなく、少しでも6支部が補い合えればとの想いで、昨年9月から各支部の認定研修の情報が会員の皆様に伝わるように、メールでの配信に取り組んでおります。

また、制度部では、昨年10月に「税理士試験制度についての意見書」を取り纏め本会制度部へ提出いたしました。こちらは昨年度から引き続き取り組んでいたもので、昨年度の議論をベースにしながらさらに意見を揉み、意見書の提出に至りました。今は、本年8月に予定されている全国

青税研究発表に向けた論文(従前のシンポジウム論文)の執筆に取り組んでいます。

対外的な活動としましては、去る11月19日に本会執行部と連盟との懇談会を開催しました。昨年度はZoomでの開催でしたが、今回は近畿税理士会館にてリアル開催をすることができました。私自身は通算7年この懇談会に参加しておりますが、今回の懇談会でようやく自分たちの意見を自信を持って伝えることができ、また本会執行部の先生方からも丁寧な回答をいただくことができたと感じています。正直なところ、過去の懇談会では言いたいことがうまく伝わらなかったり自分たちの未熟さを指摘され悔しい思いをして終わってしまうことが多かったように感じますが、今回に関しては、「次年度以降もぜひこの懇談会を続けていって欲しい」という思いを抱きました。今では本会執行部との懇談会を開催しているのは私たち青税だけになっていますので、これからの連盟執行部を担っていく方々にはこの貴重な機会をこれからも大切にしていって欲しいと思います。そして、有意義な意見交換を行うために、私たち青税は常に納税者のための税理士制度ということを念頭に置き日々研鑽しなければならないと、改めて感じました。

この原稿を書いているのは11月下旬ですが、おそらく12月の与党令和4年度税制改正大綱には、税理士法改正(2条の3)について触れられていることでしょう。令和4年1月1日からは電子帳簿保存法の改正が適用され、ますますデジタル化への対応が求められることとなります。電子取引データの保存への対応に混乱することが予想されますが、私は、電子帳簿保存法の「税務職員による質問検査権に基づく電磁的記録のダウンロードの求めに応じることができるようにしていること」という文言が気になって仕方ありません。税務調査における「提出」と「留置き」の違いから、今後データで丸ごと「提出」することにより申告納税制度(国民主権の政治原理に立って、主権者たる納税者に自ら租税債務を確定する権能を認めたもの)の理念が揺らぐことになりかねないのでは?とぼんやり考えたりしています。

代表幹事としての任期も残すところ数か月となり、骨の髄まで青税にどっぷり漬かっている私としては少々寂しい気持ちがないでもないですが、残りの時間を有意義なものにできるように、引き続き青税会員の皆様と、親睦と研鑽を重ねていきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 支部活動報告

### 大阪支部

#### 支部長 上田 寛実

大阪支部では約200名の会員の下、会員相互の親睦と研鑽を図りつつ、納税者の権利を護り、租税制度の改善と税理士制度の発展を図ることを目的とし、総務部、経理部、組織・広報部、厚生部、制度・研究部、研修部の6つの部に分かれ活動をしています。



10月24日リレーマラソン

総務部では、清本部長の下、毎月の幹事会の準備や各部間の調整など、縁の下の力持ちとして支部を支えています。また、経理部の可児部長は会費の徴収及び自動振替制度の推進、各部の予算執行状況の把握などを担当してくれています。

組織・広報部では、小西部長が未入会者に向け、毎月、研修案内のメールを送っているのですが、今年度からは問題提起型の研修案内となるよう文章を工夫されており、その甲斐あってか、今年度は会員外の研修受講が増えたように思います。

親睦担当の厚生部では、昨年度に引き続きリレーマラソン(42.195km)を今元部長が企画した他、今年は2年ぶりとなる支部旅行として岐阜県の下呂温泉へ。水明館という宿では、趣きのことなる3ヶ所の大浴場があり、湯めぐりを楽しみながら日頃の疲れをゆったりと癒し、存分に親睦を図ることが出来ました。



10月30日~31日支部旅行 下呂温泉合掌村にて

次に山西部長の制度・研究部では、参加者が各々判断に迷う論点を持ち寄って議論をするという部会を企画しました。改正電子帳簿保存法や譲渡所得などを題材に、日頃あまり参加しない特別会員も多数集まり、青税らしい活発な議論をする事が出来ました。

また、研鑽担当の研修部では、吉竹部長が「コンサルティング契約の取り方」といった事務所運営に役立つ研修や、「日本型インボイス制度の留意点」といった旬なものなど、幅広い分野の研修を毎月のように実施しています。



7月26日研修会の風景(Zoom併用)

以上、コロナ禍においても大阪支部は元気に活動をしております！なお、研修についてはZoom併用で、全国の青税会員が参加出来るようにしておりますので、皆さま、是非とも奮ってご参加ください！

## 京都支部

支部長 伊島 悠

京都支部は「会員相互の親睦と研鑽を図りつつ、納税者の権利を護り、租税制度の改善と税理士制度の発展を図る」という理念のもと、総務部・広報部・制度部・研究部・組織部・厚生部の6つの部により活動しています。本年度は幹事会や各部会をZoomで開催するなどの新型コロナ対策を実施しつつも、徐々に従来の活動を取り戻しつつあります。

毎年恒例の「親睦」行事である「日帰りレクリエーション」は一度は緊急事態宣言の影響で中止となりつつも、10月に開催を延期したことで無事に開催することができました。好天に恵まれ、ネスタリゾート神戸にてグランピング施設でのBBQや話題のアクティビティを楽しみました。

さらに10月末には「親睦」と「研鑽」のコラボ事業として、念願の「旅行」事業が開催されました。過去には「テロが発生」、「台風で関空連絡橋が不通」、「新型コロナ」などで中止続きでしたが、何とか「香川旅行」を行うことができました。うどん作り体験や金毘羅宮参拝という観光で親睦を深めるだけでなく、香川大学税法ゼミとのディベート大会についても実施しました。会員で構成された2チームが対戦し、無事に2試合とも勝利をおさめるなど、しっかりと「研鑽」を図ってきました。

「研鑽」については上記のほか、制度部が中心となって「税理士制度と京青税の歴史を学ぼう！」と題したパネルディスカッションを開催しました。京都支部の歴史を知る3名の会員をパネラーとして、「どのような理念を掲げて立上げられた団体か」「税理士制度の発展を目指しどのような主張をしてきたか」などを学び、青税活動をおこなう上での立ち位置を確認しました。また、会員向けに「税理士試験制度に関するアンケート」を実施する等、試験制度についての学習も進めています。



京都支部では今後も様々な公開勉強会や例会を開催予定です。他支部の皆様もご参加いただけますので、お気軽にご参加ください。

## 兵庫県支部

### 支部長 濱田 誠二

兵庫県支部は正会員・特別会員含めて約200名で構成され、会員同士の親睦と研鑽を行っています。平成30年度に支部規則を改定し、原則として45歳までが正会員として活動しています。

当支部では毎年恒例となっている夏の制度部合宿を7月に開催しました。前年は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を断念していたため、無事開催することが出来て非常によかったと思います。制度部合宿では毎年税制改正の意見書作成のための勉強会を行っていましたが、今年は税制改正の意見書作成がなかったため趣向を変え、税務調査に対する対応を模擬調査など実践形式で体験する企画を実施しました。

研修部では8月に「会計事務所のためのChatwork活用術」、10月に「ひとり税理士のIT活用研修」、11月に「電子帳簿保存法実務研修」と、若手税理士らしくIT系の研修を続けて行いました(もちろんZoom開催です)。また、9月には事務所を移転したばかりの辻田学会員の事務所へ見学にお邪魔しました。



前年度はいろいろな行事が新型コロナウイルス感染症の影響により実施出来なかった分、厚生部で1泊2日のファミリーレクリエーションを10月に開催する予定でしたが、残念ながら今回も開催を断念せざるを得ませんでした。まだこの先がどうなるかは分かりませんが、負けずに今年度の終わりまでには実施したいと再検討しているところです。



今年は支部のホームページを更新中であり、11月中に新しくなっている予定です。新入会員獲得のための外部へのアピールをさらに強め、楽しい青税活動を知って頂ければ会員も増えて盛り上がっていくのではと思います。そのためにも現在会員の皆様に楽しんで頂ける事業を残りの期間も実施して行きたいと思います。



## 滋賀県支部

### 支部長 東郷 鐘吾



滋賀県支部は昭和44年に発足し、正会員・特別会員合わせて約120名で活動しております。「会員相互の親睦と研鑽を図る」という理念のもとに毎月の例会に加え秋の親睦旅行及び春の日帰りレクリエーションを実施し、特に懇親会は会員相互の情報交換や近況報告で毎度大変盛り上がっております。

しかし、残念ながら本年度も昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響により、ついには滋賀県においても緊急事態宣言が発令され、支部にとって生命線といっても過言ではない「懇親会」の開催ができない状況が続いておりました。

そんな中、当初秋に企画していた親睦旅行を昨年に引き続き翌春に変更しましたが、新型コロナウイルスもだいぶ落ち着いている

状況もあって、バスを借り切った琵琶湖テラス、びわ湖湖畔でのバーベキュー、柿狩りを行ってきました。天気は快晴、例年と比べると温かい気候の中、家族連れの会員もおり、滋賀青税らしくワイワイガヤガヤ過ごしてまいりました。

そして、毎年恒例となっている次期支部長候補の発表もバーベキューの際に行うことができ、次期支部長候補の西村会員(あくまでも候補ですが…)も即席の盃にて、なぜか甘くなったビールを飲んでいました。今年も例年のように特別会員も交え、久しぶりの親睦を図ることがなんとかできました。

さて、今年度も引き続き新型コロナウイルスの影響をうけていますが、最近では収まりも見せている状況となっております。また、インボイスや電子帳簿保存法の適用も迫り、より一層の変革期を迎えていると思います。そんななか滋賀青税では、誰に遠慮することもなく様々な意見交換がいつでも行わ



れています。たびたび深夜まで親睦が図られており、次の日にはだいぶ忘れているというお茶目な一面もありますが、税理士という職業がより社会に貢献し、必要とされる存在になるよう常にアンテナを張りながら「親睦と研鑽を図る」という伝統のもと今年度も活動してきたいと考えております。

## 奈良県支部

### 総務部長 堀井 亮良

近畿青税において、'奈良県支部はどうなっているのだろう？'と気にかけてくださる方もいらっしゃるかと思います。会員数は現在39名ですが、ここ数年会員が全く増えていないことから幹事も変更がなく、勤続疲労がでてまいりました。そこでコロナ禍ということもあり、本年度については奈良県支部としての活動は一旦休止するという判断をいたしました。

10月7日に藤原代表幹事及び連盟組織検討委員会で懇談会を開催していただきました。そこで両者の思いをぶつけていますので、良い方向に向かっていければなと思います。

(写真は、前事業年度になりますが、前年度の新年研修会です。)



## 近畿税理士会執行部との懇談会

大阪支部 清本 敏弘

令和3年11月19日(金)午後2時半から近畿税理士会館3階会議室において「近畿税理士会・近畿青年税理士連盟 懇談会」が開催されました。この懇談会は我々連盟が近畿税会執行部と直接意見交換のできる貴重な場となっています。昨年度はコロナのためオンライン開催でしたが、今年度は対面で従来より30分長い2時間30分の予定で開催されました。

本会からは杉田宗久会長をはじめ副会長・専務理事・質問に対応する回答を担当される各部部长を含め17名の方に出席を頂きました。連盟側は、藤原代表幹事を筆頭に、連盟執行部、各支部支部長他計12名が出席しました。

我々は小西制度部長を中心に4回の事前対策会議で議論を重ねたうえで下記の8項目について質問をしました。

1. 「税理士の業務のICT化推進の明確化」について
2. 周旋業者について
3. 税理士試験制度「受験資格要件」について
4. 研修受講義務に関して
5. 電子帳簿保存法「電子取引」への対応について
6. 高齢化社会に伴う業務不能税理士会員事務所における業務の状況確認について
7. 対外広報について
8. 会務の参加意識を高めるための具体的な施策について



懇談会においては、質問者はきちんと意見を伝えることができましたし、本会からの出席者も真摯に答えていただき、闊達な意見交換ができたのではないかと思います。この懇談会に参加する前は、本会の役員の方は「あちら側」の人と見ていたのですが、立場は少し違うかもしれませんが、ともに「こちら側」なのではないかなと感じました。懇談会の最後には青税に対する期待も表明されました。

また懇談会において本会から下記の依頼を受けました。

- ・電帳法も含め税制改正意見書の提出も予定しているので青税も協力してほしい。
- ・悪質な周旋業者の実例や被害者の情報があれば本会に情報提供をお願いしたい。
- ・周旋業者との契約についての指針を青税でも取りまとめて提出してほしい。
- ・試験制度についてこういう風にしたら受けやすいなどの要望を出してほしい。

きちんと対応していただいた以上、私たち連盟も誠実に意見をまとめ若しくは情報収集し返答する必要があると感じました。

## 全国青年税理士連盟 第54回岐阜大会

大阪支部 小西 伸幸

令和3年8月22日(日)、都ホテル岐阜長良川で「全国青年税理士連盟第54回岐阜大会」が開催されました。緊急事態宣言が発令され、現地参加できなくなったので、残念ながら、Webでの参加となりました…。

全国大会は、第1部研究発表、第2部パネルディスカッション、第3部定時総会の構成で開催されました。

第1部の研究発表では、日税連制度部長・近税会制度部長を務めている京都支部の市木雅之会員を講師にむかえ、次期税理士法改正において、税理士試験制度とICT化への対応を中心に、熱のこもった講演を行っていただきました。

その流れで、コーディネーターに前田会員(神奈川青税)、パネリストに市木日税連制度部長・近税会制度部長、高柳会員(神奈川青税)、木下会員(名古屋青税)、そして藤原代表幹事を迎えて、第2部パネルディスカッションが行われました。



「試験制度」「斡旋業者」「ICT化・事務所設置」など税理士法改正で課題になっている項目をテーマにパネルディスカッションが行われました。市木日税連制度部長が真横にいるにもかかわらず、税理士法2条の3に対する疑問・反対意見を藤原代表幹事が熱弁し、熱弁が終わったときに、Zoom越しで参加会員から拍手が起こっていたのが印象的でした(事前シナリオを無視して熱弁をふるったとのことです。)

第3部の定時総会では森岡崇前会長をはじめとする旧執行部の議案が滞りなく承認可決され、亀川貴之新会長(千葉青税)をはじめとする新執行部の役員改選の件、事業計画承認の件についても承認可決されました。

来年の全国大会は、令和4年8月7日(日)に、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルで開催予定になりました！来年は現地参加したいですね。

# 幹 事 会 報 告

## ●第2回幹事会

日時:令和3年7月9日(金) 於:Zoom 会議室+連盟事務局

### 【報告・依頼事項】

#### 総務部

1. 六月定時総会議事録について
2. 代表幹事推薦委員会について
3. 令和3年度行事日程等の更新について
4. 全青理事の分掌一覧について
5. 全国青税拡大法対策部会の開催日について  
日時:令和3年8月21日(土) 10:00～13:30 場所:じゅうろくプラザ大会議室 (Zoom 併用)
6. 連盟幹事分掌について
7. 名簿作成準備について
8. 各支部会費納入について

#### 制度部

1. 制度部会開催報告他について

#### 組織部

1. ジールプラス発送について
2. 伝達式について

#### 広報部

#### 各支部報告

1. 支部報告 (大阪支部、京都支部、兵庫県支部、和歌山県支部、滋賀県支部)

### 【審議事項】

#### 総務部

1. 近畿税理士会との懇談会の件

### 【協議事項】

#### 連盟組織検討委員会

1. 委員会の開催日程について

#### 総務部

1. 名簿掲載について

#### 広報部

1. 各支部研修案内フォーマットについて

#### 組織部

1. 今後の新会員獲得について (継続協議)

### 【その他】

## ●第3回幹事会

日時:令和3年8月20日(金) 於:Zoom 会議室

### 【報告・依頼事項】

#### 総務部

1. 理事会レポート
2. 弔事対応実務マニュアルについて
3. 代表幹事推薦委員会について
4. 近畿税理士会執行部との懇談会の進捗について (口頭)
5. 令和3年度行事日程等の更新について

#### 制度部

1. 制度部会開催報告他について

#### 組織部

#### 広報部

1. 連盟広報誌について

#### 連盟組織検討委員会

1. 委員会開催報告について

#### 各支部報告

1. 支部報告 (大阪支部、京都支部、兵庫県支部、和歌山県支部、滋賀県支部)

### 【審議事項】

#### 総務部

1. 会費未納会員の退会勧告の件 (口頭)

### 【協議事項】

#### 連盟組織検討委員会

1. 委員会の開催日程について (口頭)

**広報部**

1. 各支部研修案内フォーマットについて

**組織部****【その他】****●第4回幹事会**

日時:令和3年9月17日(金) 於:Zoom 会議室

**【報告・依頼事項】****総務部**

1. 代表幹事推薦委員会について (口頭)
2. 令和3年度行事日程等の更新について
3. 近畿税理士会執行部との懇談会の進捗について (口頭)
4. E-DESK アカウントの整理について
5. 今後の「連盟認定研修のご案内」(ML 配信)の運用について

**制度部**

1. 制度部会開催報告他について

**組織部**

1. ジールプラス発送について
2. 伝達式について

**広報部****連盟組織検討委員会**

1. 委員会開催報告について

**各支部報告**

1. 支部報告 (大阪支部、京都支部、兵庫県支部、和歌山県支部、滋賀県支部)

**【審議事項】****総務部**

1. 会員名簿の連盟ホームページ公開の件
2. 期首会員数訂正に伴う連盟会費精算の件

**【協議事項】****制度部**

1. 税理士試験制度についての意見書について

**組織部**

1. ゴルフコンペについて

**【その他】****●第5回幹事会**

日時:令和3年10月15日(金) 於:Zoom 会議室+連盟事務局

**【報告・依頼事項】****総務部**

1. 理事会レポート
2. 令和3年度行事日程等の更新について
3. 第2回会費請求について
4. 近畿税理士会執行部との懇談会について
5. E-DESK アカウントの整理について (口頭)

**制度部**

1. 制度部会開催報告他について

**組織部****広報部**

1. 連盟広報誌原稿依頼について

**連盟組織検討委員会**

1. 奈良県支部との懇談会開催報告について

**各支部報告**

1. 支部報告 (大阪支部、京都支部、兵庫県支部、和歌山県支部、滋賀県支部)

**【審議事項】****制度部**

1. 税理士試験制度についての意見書の件

**【協議事項】****制度部**

1. 全国大会論文について

**【その他】**

●第6回幹事会

日時：令和3年11月12日(金) 於：Zoom 会議室+連盟事務局

【報告・依頼事項】

総務部

1. 理事会レポート
2. 令和3年度行事日程等の更新について
3. TAC 割引券送付について  
TAC より各支部送付先へ割引券（割引適用期限 12/25）が届きますので会員への配布をお願いします。
4. 会計中間報告について  
12月幹事会にて会計中間報告を予定しておりますので10月末までの会計精算が残っている方は出来るだけ早めに精算をお願いします。

制度部

1. 制度部会開催報告他について

組織部

広報部

1. 連盟広報誌 251号について

連盟組織検討委員会

1. 連盟組織検討委員会開催報告について

各支部報告

1. 支部報告（大阪支部、京都支部、兵庫県支部、和歌山県支部、滋賀県支部）

【審議事項】

【協議事項】

連盟組織検討委員会

1. 規約改正案について

【その他】



路 地 裏

皆様、新年あけましておめでとうございます。連盟広報部長の竹代です。本年もどうぞよろしくお願い致します。

前回の250号からかなり間が空いてしまいましたが、皆様のご協力のおかげで近畿青税251号を発行することができました。原稿依頼を快く引き受けていただきました会員の皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。

昨年10月からコロナ感染者が急減したことにより、連盟、各支部ともに秋口の行事はかなり開催することができました。1月は各支部の新年会も控えていますし、このまま収束してくれたらと願うばかりです。

業務の方は、これから繁忙期に突入します。皆様におかれましても、体調に十分気をつけてお過ごしください。

広報部長 竹代 慶吾

